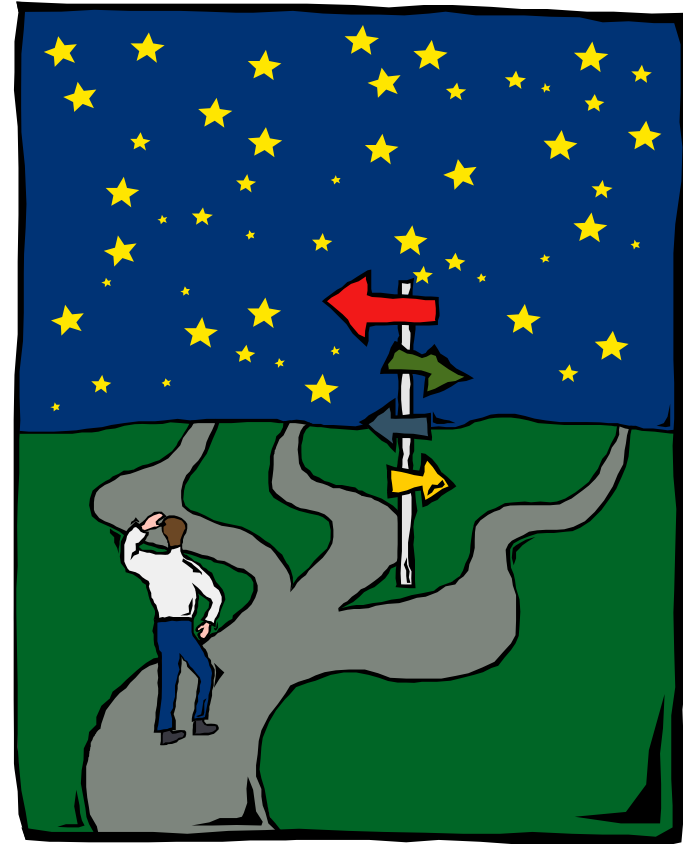


# がん化学療法と 地域連携クリティカルパス

国際医療福祉大学三田病院 副院長  
国際医療福祉総合研究所長  
国際医療福祉大学大学院 教授  
(株)医療福祉経営審査機構CEO  
武藤正樹

# 目次

- パート1
  - がん対策基本法とがん地域連携クリティカルパス
- パート2
  - 谷水班の紹介
- パート3
  - がん地域連携クリティカルパス事例報告
    - 胃がん・大腸がん
    - 乳がん
    - 肺がん
    - 肝がん



パート1  
がん対策基本法と  
がん地域連携クリティカルパス

# がん対策基本法

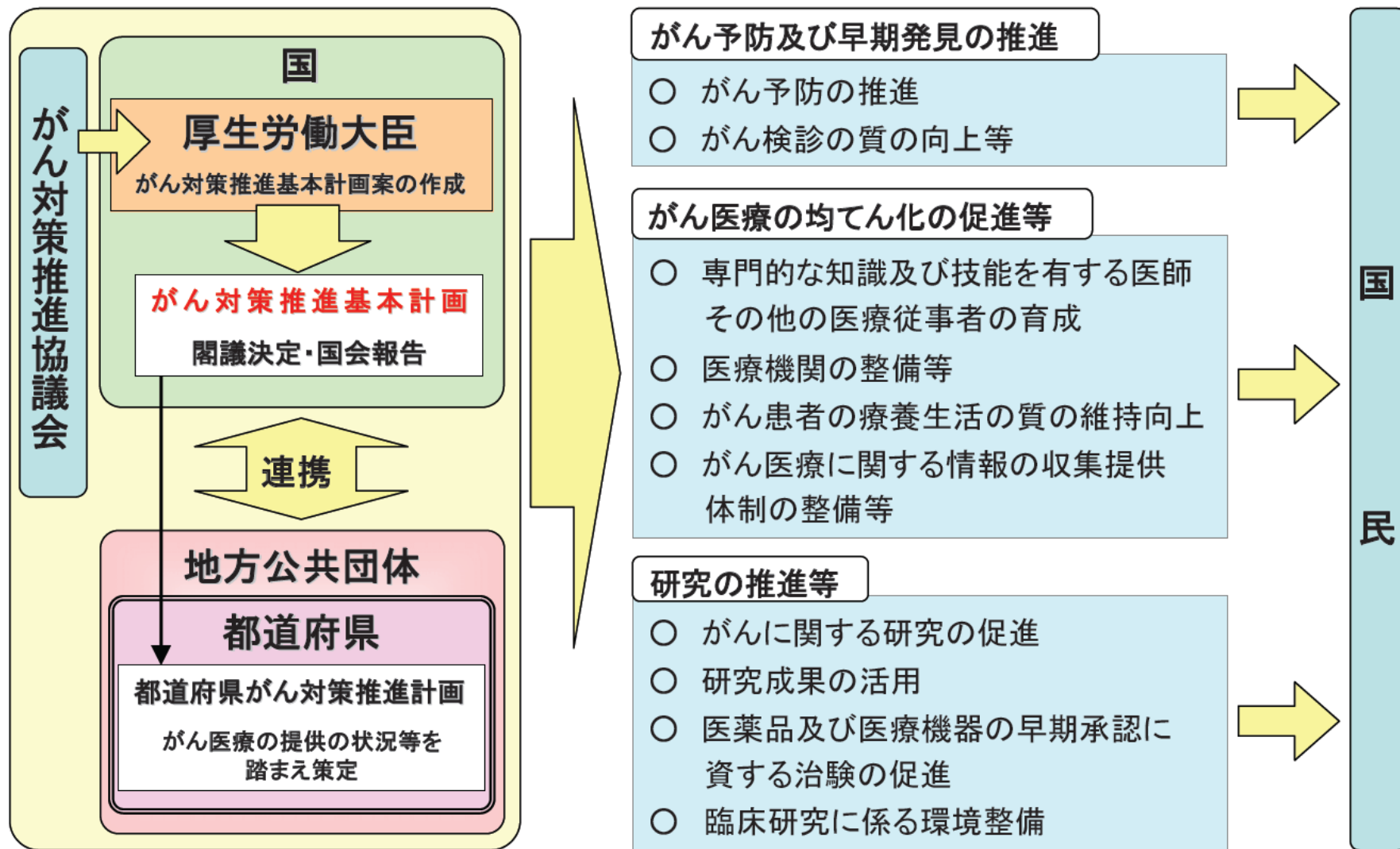
- がん対策基本法
  - 2006年6月成立
  - がん対策のため、国、自治体の責務を明確にして、厚労省にがん対策推進協議会を設置することを定めた法律
  - 当初、与党自民党と野党民主党の間で調整が 手間取り成立が危ぶまれていた
  - 山本孝史議員の自らのがんを告白して行った質問により与野党一致して法案が成立した
  - 1971年米国のキャンサーアクト成立(ニクソン政権)



山本孝史民主党参議院議員  
58歳で胸腺がんのため亡くなる

# がん対策基本法

がん対策を総合的かつ計画的に推進



# がん対策推進基本計画

- 「がん対策推進基本計画」
  - 2007年6月閣議決定
  - 10年以内にがん死亡率20%減少
  - 5年以内にがん検診受診率50%以上を目指す
  - 5年以内(2012年まで)にすべてのがん診療連携拠点病院で

5大がん(胃、大腸、肺、乳、肝がん)の  
地域連携クリティカルパスを整備する

# がん診療連携拠点病院制度 47都道府県（351カ所）※H20年2月現在

厚生労働省

協力・支援

都道府県

国立がんセンター



がん対策情報センター



< 拠点病院の役割 >

- 専門的ながん医療の提供等
- 地域のがん医療連携体制の構築
- 情報提供、相談支援の実施

研修

地域がん診療連携拠点病院  
相談支援センター

地域連携パス

情報  
提供

症例  
相談

地域の医療機関  
(かかりつけ医、在宅療養支援センター等)

都道府県がん診療連携拠点病院  
相談支援センター

地域がん診療連携拠点病院  
相談支援センター

診療支援

研修

地域連携パス

診療  
支援

研修

地域連携パス

情報  
提供

# パート2 谷水班の紹介

厚生労働科学研究

全国のがん診療連携拠点病院において活用が可能な地域連携クリティカルパスモデルの開発

(H20-がん臨床-一般-002)



# 全国のがん診療連携拠点病院において活用が可能な地域連携 クリティカルパスモデルの開発 (H20-がん臨床-一般-002)

## 研究者氏名

谷水正人(研究代表者)

池垣淳一

河村進

佐藤靖郎

住友正幸

田城孝雄

藤也寸志

梨本篤

奈良林至

林昇甫

武藤正樹

望月泉

## 所属

四国がんセンター

兵庫県立がんセンター

四国がんセンター

済生会若草病院

徳島県立中央病院

順天堂大学医学部付属病院

九州がんセンター

新潟県立がんセンター

埼玉医科大学国際医療センター

大阪市立豊中病院

国際福祉大学三田病院

岩手県立中央病院

## 班長協力者

愛媛県がん診療連携協議会メンバー

池谷俊郎(班長協力者)

池田文広(班長協力者)

船田千秋(班長協力者)

新海哲(班長協力者)

若尾文彦(班長協力者)

前橋赤十字病院

前橋赤十字病院

四国がんセンター

四国がんセンター

国立がんセンター

# 谷水班の地域連携クリティカルパスの作成指針

- 診療ガイドラインに沿って作成する
- 医療機関の機能と役割分担を明記する
- 診断、治療、外来、緩和ケア、在宅、看取りまで
- 抛-病-診-看-在-薬-連携を包含する
- 共同診療計画を各疾患の治療法ごとに作成する
- 連携の意志がある地域の全医療機関が使えるもの
- 連携を説明し同意を得る
- 緊急時対応の取り決めを明記する
- 紙のひな型を提示する。将来的には電子化を見据える
- 連携医療機関と定期的に協議する場を設ける

# 谷水班として作成すべき4点セット

- ①医療機関の機能・役割分担表
- ②共同診療計画表（連携パス）
- ③私のカルテ
- ④医療連携のポスター

# ①医療機関の機能・役割分担表

機能	専門的ながん診療	かかりつけ医	緩和ケア	居宅
診断	確定診断、精密診断(ステージ診断)、再発時の診断	初期診断、再発時の診断、精査の必要性の判断		
検査	精密(画像、血液)検査、経過観察のための(血液、画像)検査	スクリーニング検査、経過観察のための検査	経過観察のための検査	
治療	縮小手術、内視鏡手術、定型手術、拡大手術、化学療法、術後補助化学療法、術前化学療法、放射線療法、臨床試験、症状緩和治療	術後症状コントロール、専門施設と連携した化学療法、術後補助化学療法の継続、症状緩和治療	症状緩和治療(疼痛、食思不振、倦怠感、呼吸困難等)	担当医による症状コントロール、症状緩和治療の継続
経過観察、対応、ケア	定期観察、かかりつけ医と連携した副作用・合併症の対応	日常の指導・管理、専門施設と連携した副作用・合併症の対応、レスパイト入院、ショートステイ	ホスピスケア、デイホスピス、レスパイト入院	療養の場の提供、デイケア、ショートステイ、レスパイト入院

# 胃がん・大腸がんの連携パス

## 胃癌・大腸癌Stagel術後長期連携パス(医療者用)

様

病院主治医 (電話: )

診療所名: 主治医 (電話: )

		診療所における日常診療							
		入院	病院外来 6ヵ月後	病院外来 1年後	病院外来 1年半後	病院外来 2年後	病院外来 3年後	病院外来 4年後	病院外来 5年後
項目									
達成目標					化学療法の実施				
連携、連絡		再発等の場合、積浜医療センターに連絡							
教育・指導		□患者採用パス説明							
検査・測定									
PS 血圧 体温 体重 身長 心電図	採血	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	腫瘍マーカー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
採尿 排便 腹部X線 腹部超音波 内視鏡 CT MRI	1ヶ月毎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3ヶ月毎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1ヶ月毎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

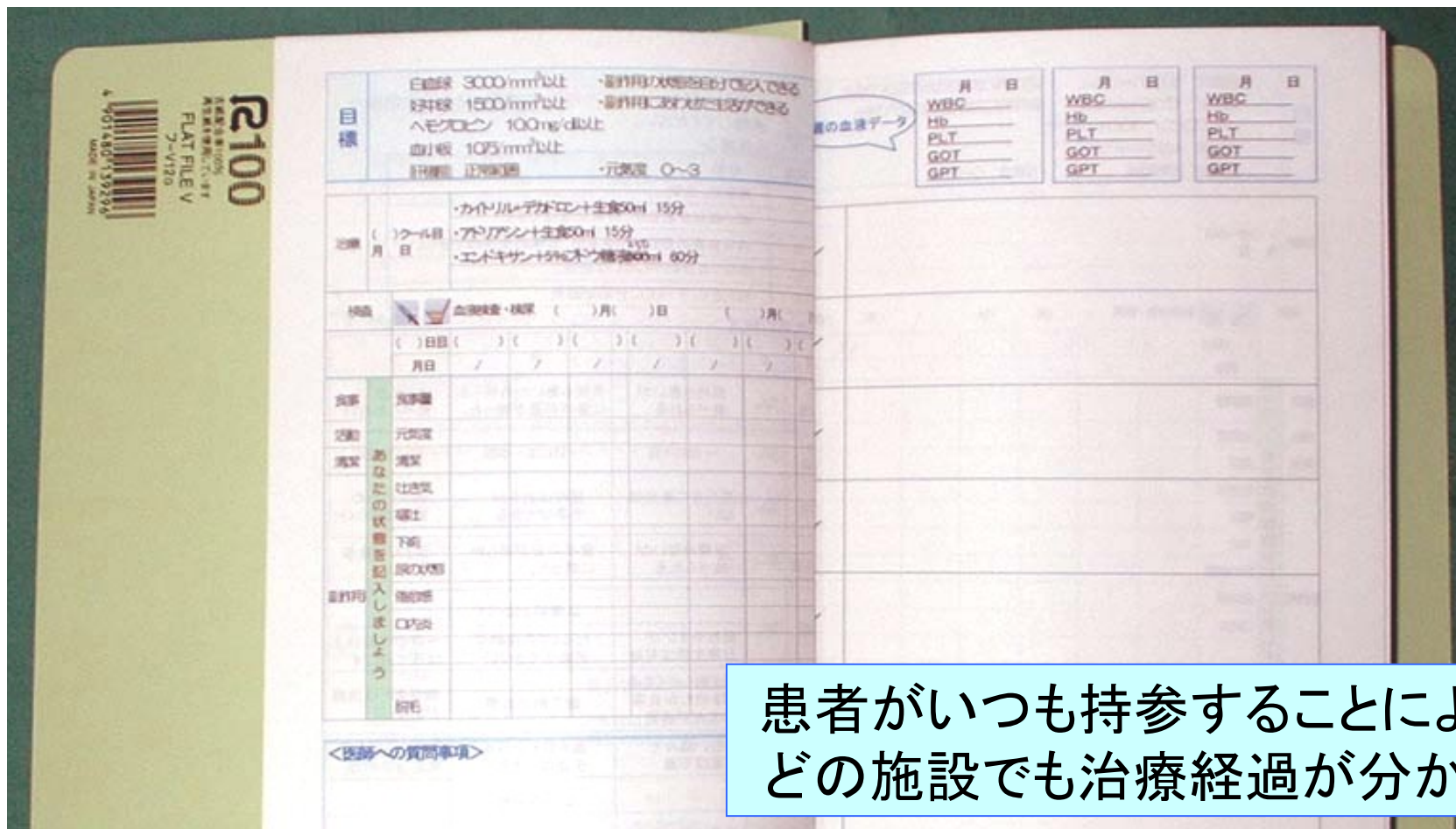
医療者用連携パス  
術後パスであれば最低限必要な診察や検査、化学療法パスであれば投与計画(間隔など)、標準的な診療計画を提示する

る

# 共同診療計画表作成の方針

- 汎用性を意識したひな型を作成する。
  - オリジナリティを尊重しつつ、好先進例を生かす。
  - 標準的治療、診療ガイドラインという観点からのチェック。
  - ひな型の形式を固定するのではなく、要件、項目を決定する。
- 作成するもの
  - オーバービューの共同診療計画表：医療者用、患者用
    - 共同診療計画表に医療機関(と担当者)を記入する。
  - 医療者用シート、患者用シート、自己チェックシート
- 専門的ながん診療を行う医療機関で押さえるポイントと間隔、かかりつけ医等で押さえるポイントと間隔を示す。
- 精査、対応(紹介、移動)が必要と判断されるチェックポイント(タイミング)を示す。
- 多職種チーム活動の視点を入れる(薬剤管理(薬剤師の視点)、看護・療養管理(看護師の視点)等)。

# ③私のカルテ(患者日誌)



患者がいつも持参することにより  
どの施設でも治療経過が分かる

患者用連携パス

# 私のカルテ

- 地域連携パスの説明書・同意書
- 決定した連携先医療機関の一覧
- 知っておきたい私の診療情報
- 患者用連携パス
- 自己チェックシート
- おくすり手帳、副作用の説明書



# ④医療連携ポスター

♡♡♡♡♡ **安心と信頼を支える医療の連携** ♡♡♡♡♡

がん診療連携拠点病院と地域医療機関は連携してあなたの療養を支えます

私のカルテを持ちましょう



## パート3

# がん地域連携クリティカルパス事例

胃がん・大腸がん

肺がん・乳がん

肝がん

# 胃がん・大腸がんの地域連携パス



済生会若草病院外科 佐藤靖郎先生

# 胃癌StageII, III 術後長期連携パス 案

様

〇〇〇〇病院主治医: \_\_\_\_\_ (電話: \_\_\_\_\_ )

診療所名: \_\_\_\_\_ 主治医 \_\_\_\_\_ (電話: \_\_\_\_\_ )

		〇〇〇〇病院											
		入院	退院	外来	6カ月後	1年後	1年半後	2年後	2年半後	3年後	4年後	5年後	
達成目標		順調な回復				化学療法の完遂							術後フォローの完遂
手術		<input type="checkbox"/>											
検査・診断	心電図 腹部X線 腹部超音波 内視鏡 CT MRI	紹介			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
連携、連絡 教育・指導	<input type="checkbox"/> 連携説明 <input type="checkbox"/> 治療スケジュール説明 <input type="checkbox"/> 連携パス説明	<b>診療所</b> 再発、副作用発生等の場合、〇〇〇〇病院に連絡											
投薬	チェック 処方 消化器症状 皮膚症状 全身症状 薬物処置	<input type="checkbox"/> 残薬チェック <input type="checkbox"/> 併用薬チェック <input type="checkbox"/> TS-1			(Blue arrows indicating follow-up points)								
検査・測定	PS 血圧 体温 採血 腫瘍マーカー 採尿	2週毎 1ヶ月毎 1ヶ月毎			(Blue arrows indicating follow-up points)								
診療報酬	特定疾患療養管理料(225x2) 診療情報提供料 I (250) 悪性腫瘍特異物質治療管理料(400)	(Blue arrows indicating payment points)											

# TS-1のがん連携パス

- TS-1内服による病診連携パス
  - 服薬アドヒアランスの問題がある
  - 消化器がんの症例が多い
  - がん専門病院で術後TS-1を導入して診療所とレジメンを共有
  - TS1内服の病診連携は応用範囲が広い
    - 胃がん、大腸がん
    - 頭頸部がん、手術不能例
    - 再発乳がん、膵臓がん、非小細胞肺がん、胆道がん

# 港区がん連携パス研究会



胃がん・大腸がん手術後  
外来経口抗がん剤療法(TS-1)の連携パス

国際医療福祉大学三田病院  
東京都済生会中央病院  
山王病院

# 港区医師会アンケート調査

1. がん患者の診断を行うことがありますか。

- はい  いいえ

2. がん治療の経験はありますか。

- はい  以前所属していた施設で経験がある

↓

どのようながん種の患者さまを診ていますか？（複数回答）

- 胃がん  大腸がん  肺がん  乳がん  肝がん  
 前立腺がん  子宮がん  その他（

3. がん術後フォローアップの病診連携に興味がありますか。

- はい  いいえ

- その他（

4. 検査、診断可能な項目を教えてください。（複数回答）

- 一般血液検査の迅速検査

- 可能でない→（何日後に結果が出ますか： 日

- 腫瘍マーカー  内視鏡検査  X線

- エコー  CT  MRI  マ

- その他（

5. どの程度の状態のがん患者なら逆紹介で受け入れることが可能か。

- 状態の良い、術後フォローのみの患者  
 状態の良い、術後補助化学療法患者（経口抗癌剤）  
 状態の良い、術後補助化学療法患者（注射抗癌剤）  
 状態の良い、進行再発がんの化学療法（経口・注射抗癌剤）  
 終末期の患者（緩和ケアの患者）  
 受け入れられない  
 その他（

6. 術後フォローのがん患者を受け入れた場合の不安な点（複数回答）

- 定期的診断・治療  
 緊急時の対応  
 化学療法の副作用への対応  
 患者のメンタルケア  
 その他（

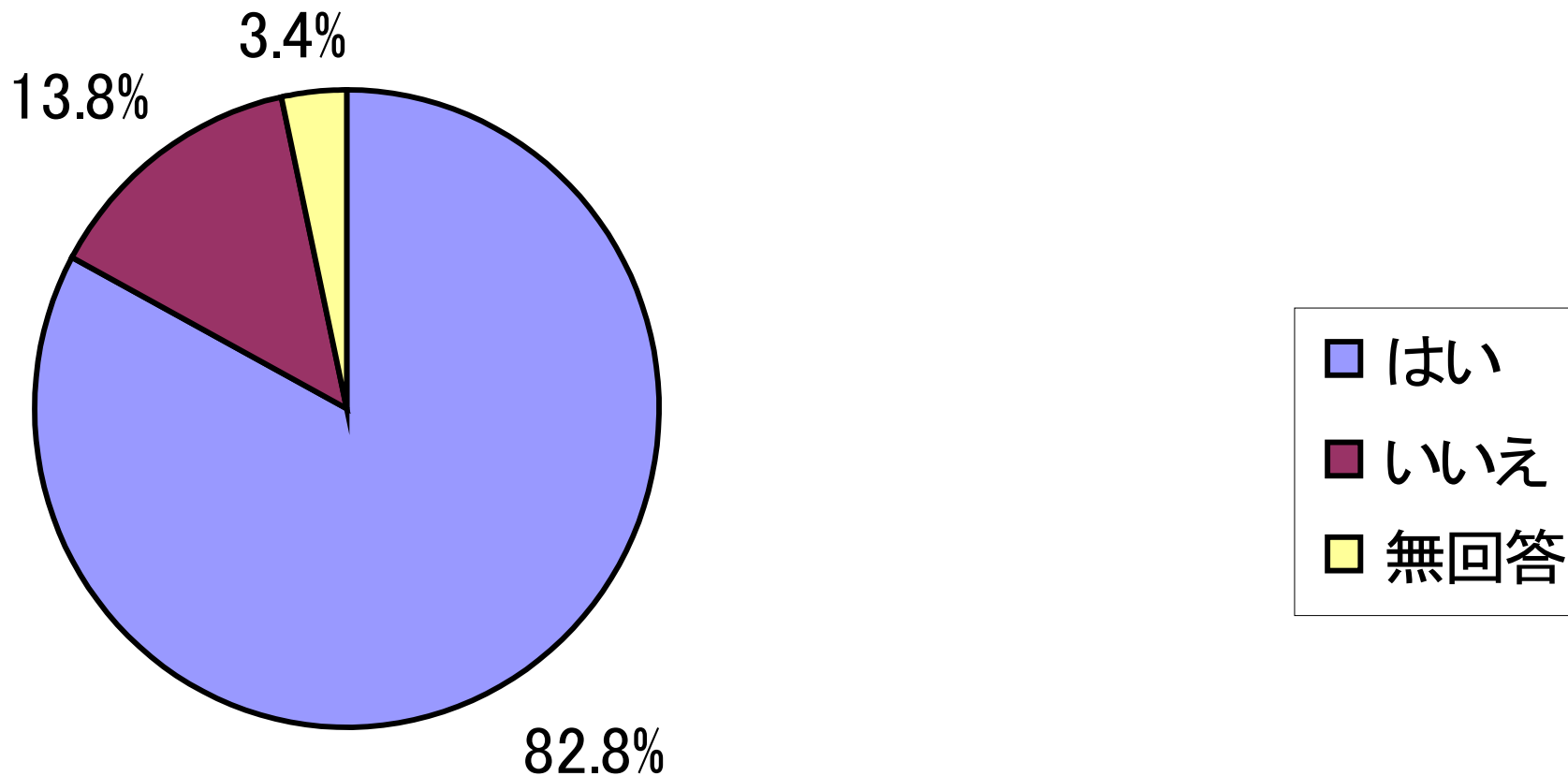
7. 在宅医療、往診を行っていますか。

- はい  いいえ

8. 終末期がん患者を在宅で看取ったことがありますか。

- はい  いいえ

# がん術後フォローアップの病診連携に興味がありますか

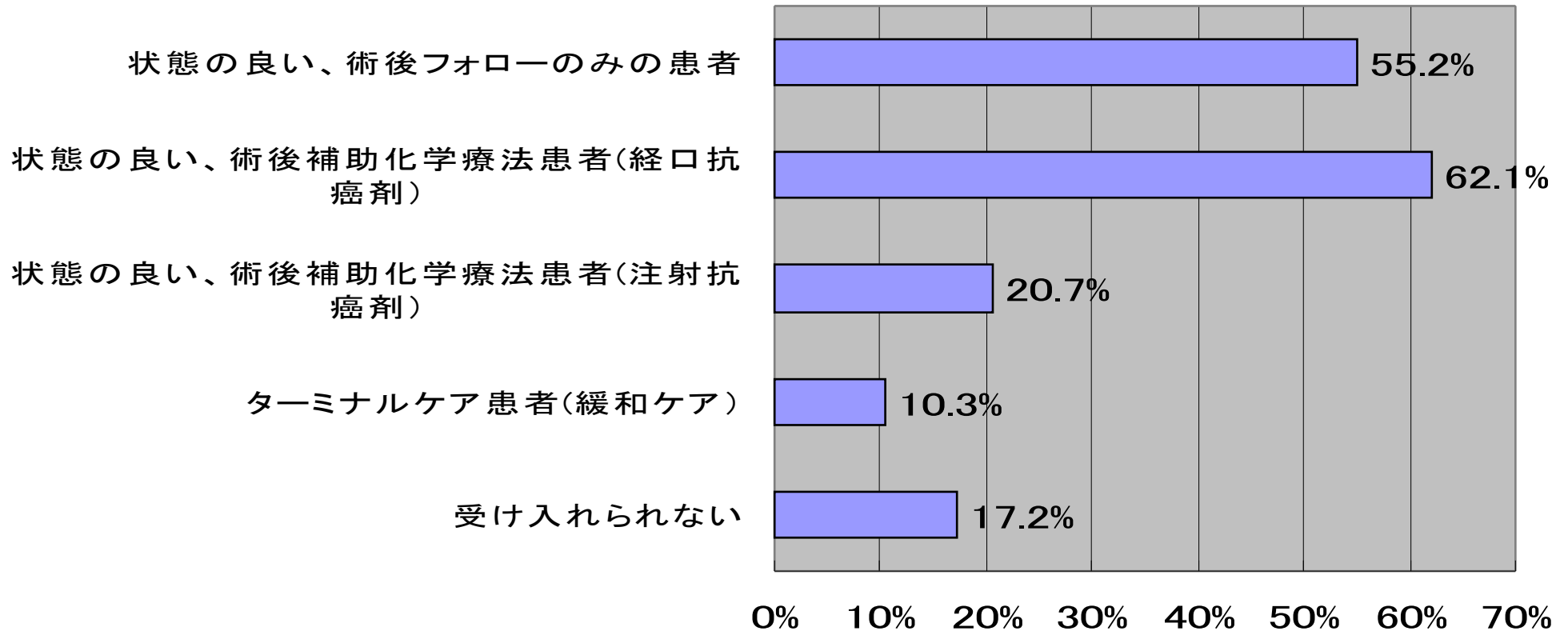




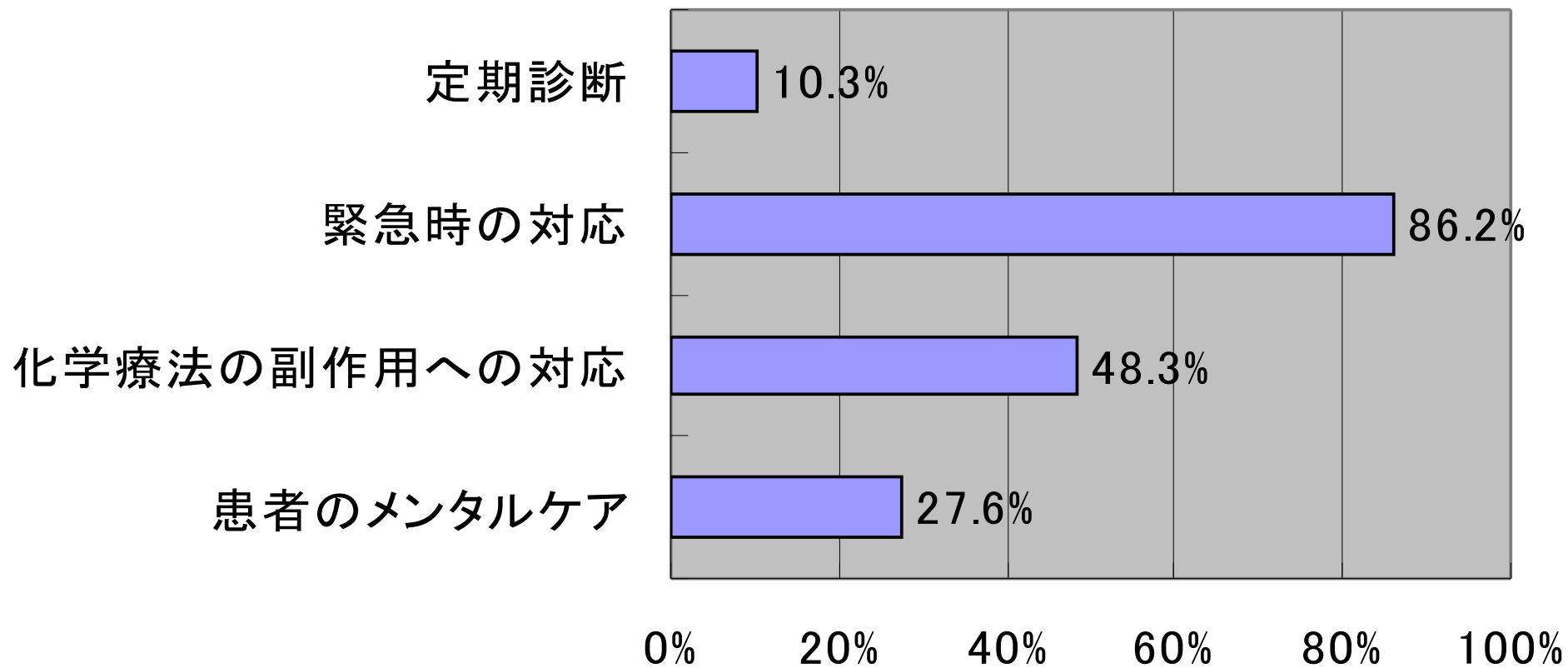
# がん術後のフォローに興味を持つ理由

- 「現在すでにがんのフォローアップ中の患者がいる」
- 「消化器外科に携わっていた経験が役立てられるから」
- 「勤務医時代はがん診療に携わっていたから」
- 「以前は一般外科医だったから」
- 「がん専門施設に勤務していたから」
- 「当院から紹介先で手術を受け、状態が安定した患者さんが再び当院への通院を希望された場合に必要だから」
- 「悪化時にはすぐに受け入れていただける体制になればできるだけ自宅で過ごさせてあげたいから」
- 「患者さんのニーズから」
- 「地域医療の一環として」

# どんながん患者さんを フォローしたいですか？



# 病院に期待すること



# がんの地域連携クリティカルパス

- ① 病院と診療所の役割分担表
- ② 共同診療計画表 (医療者用連携パス)
- ③ わたしのカルテ (患者用連携パス)
- ④ 連携ポスター

がん専門病院

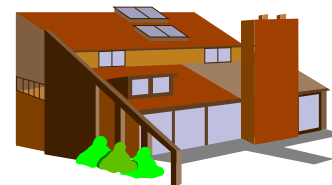


連携  
ポスター



私の  
カルテ

診療所



日常診療

手術  
定期検査 (CT、内視鏡など)  
再発時の抗がん剤治療など

胃癌StageII, III術後長期連携パス 案

○○○病院主治医: \_\_\_\_\_ (電話: \_\_\_\_\_)

診療所名: \_\_\_\_\_ 主治医: \_\_\_\_\_ (電話: \_\_\_\_\_)

項目	入院	退院	外来	6ヵ月後	1年後	1年半後	2年後	2年半後	3年後	4年後	5年後
経過観察											
検査・診断	<input type="checkbox"/> 胸部X線 <input type="checkbox"/> 心電図 <input type="checkbox"/> 腹部超音波 <input type="checkbox"/> 内視鏡 <input type="checkbox"/> CT <input type="checkbox"/> MRI		<input type="checkbox"/> 紹介								
連絡・連絡 教育・指導	<input type="checkbox"/> 連携ポスター <input type="checkbox"/> 連携ポスター		<input type="checkbox"/> 連携ポスター <input type="checkbox"/> 連携ポスター								
投薬	手術後 処方 消化器症状 皮膚症状 全身症状 薬剤副作用		<input type="checkbox"/> 連携ポスター <input type="checkbox"/> 連携ポスター <input type="checkbox"/> 連携ポスター								
検査・測定	体重 体温 脈拍 腫瘍マーカー 尿検査		<input type="checkbox"/> 連携ポスター <input type="checkbox"/> 連携ポスター								
診療報酬	特定後遺症管理料(225x2) 診療報酬(1,720) 薬性腫瘍診療(200)										

腫瘍マーカーなどの検査  
術後経口抗がん剤投与

共同診療計画表 (地域連携クリティカルパス)

# 私のカルテ（服薬記録）

## 服薬記録

診察時には、この手帳を担当の医師または薬剤師に見せましょう。



氏名

有害事象（自覚症状の早期発見役立つ。）

電話番号

担当医師名

本資料は処方箋調剤請求のための資料ではありません。 第2版 2017年8月発行



提供：TAKEDA 大塚薬品工業株式会社  
<http://www.taiko.co.jp/>

### < 服薬記録 > 記入例



服薬期間（予定）  
2月1日～2月28日

休薬期間（予定）  
3月1日～3月4日

飲む薬

カプセルの種類  
     
 1日(2)カプセル×2回

変更があった場合  
 ↓  
 (2月16日)

カプセルの種類  
     
 1日(2)カプセル×2回

	日		月		火		水		木		金		土	
	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕
日付			2/1		2		3		4		5		6	
服薬数			×	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
症状														
日付	7		8		9		10		11		12		13	
服薬数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
症状													⑨	
日付	14		15		16		17		18		19		20	
服薬数	×		×		×		×		×		×		×	
症状	⑨		⑨		⑨		⑨		⑨		⑨		⑨	
日付	21		22		23		24		25		26		27	
服薬数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
症状							⑦							
日付	28		3/1		2		3		4		5		6	
服薬数	2	2	2	×										
症状														
日付	7		次のページに書く											
服薬数														
症状														

記入方法

- 日付けを入れ、飲んだ薬の数を服薬数の欄に記入し、調子が悪かったり、飲み忘れて飲まなかった時は服薬数の欄に×印を付けてください。（飲み忘れても絶対に2回分を1度に飲まないでください。）
- 休薬期間には斜線、受診日には○印をつけておきましょう。

この薬以外の治療薬

月	日	～	月	日

メモ

上記以外の症状や気になることなどをメモしておきましょう。

2/13 口内炎かできた  
 2/14 朝用飲み忘れ  
 2/15 診察、口内炎のため薬かわる  
 2/20 午後下痢1回 (自カセル)  
 2/24 少しはき気があった 3/1 朝の非服用

症状

次のような症状が出現した場合は、症状の番号を記載しておきましょう。

- ① のどの痛み、発熱
- ② 出血（あざができる：紫色・赤色）
- ③ めまい、たちくらみ
- ④ からだがだるい
- ⑤ しびれ、舌のもつれ、歩行時のふらつき、物忘れ
- ⑥ 息切れ、せき、発熱あるいはかぜのような症状
- ⑦ 吐きけ、食欲がない
- ⑧ 下痢、腹痛、血便
- ⑨ 口内炎
- ⑩ 口や目の結膜のただれ
- ⑪ 目の充血、痛み
- ⑫ 涙が多く出る、目のかすみ、目がかわく
- ⑬ 目や皮膚が黄色い
- ⑭ 膝や手足などがむくむ
- ⑮ 尿量が減る、血尿
- ⑯ にどいがわかりにくい
- ⑰ 発熱、かゆみ、色澤沈着、手足の皮膚潮
- ⑱ 手足に力が入らない、振りが強い

自覚症状の番号を記入

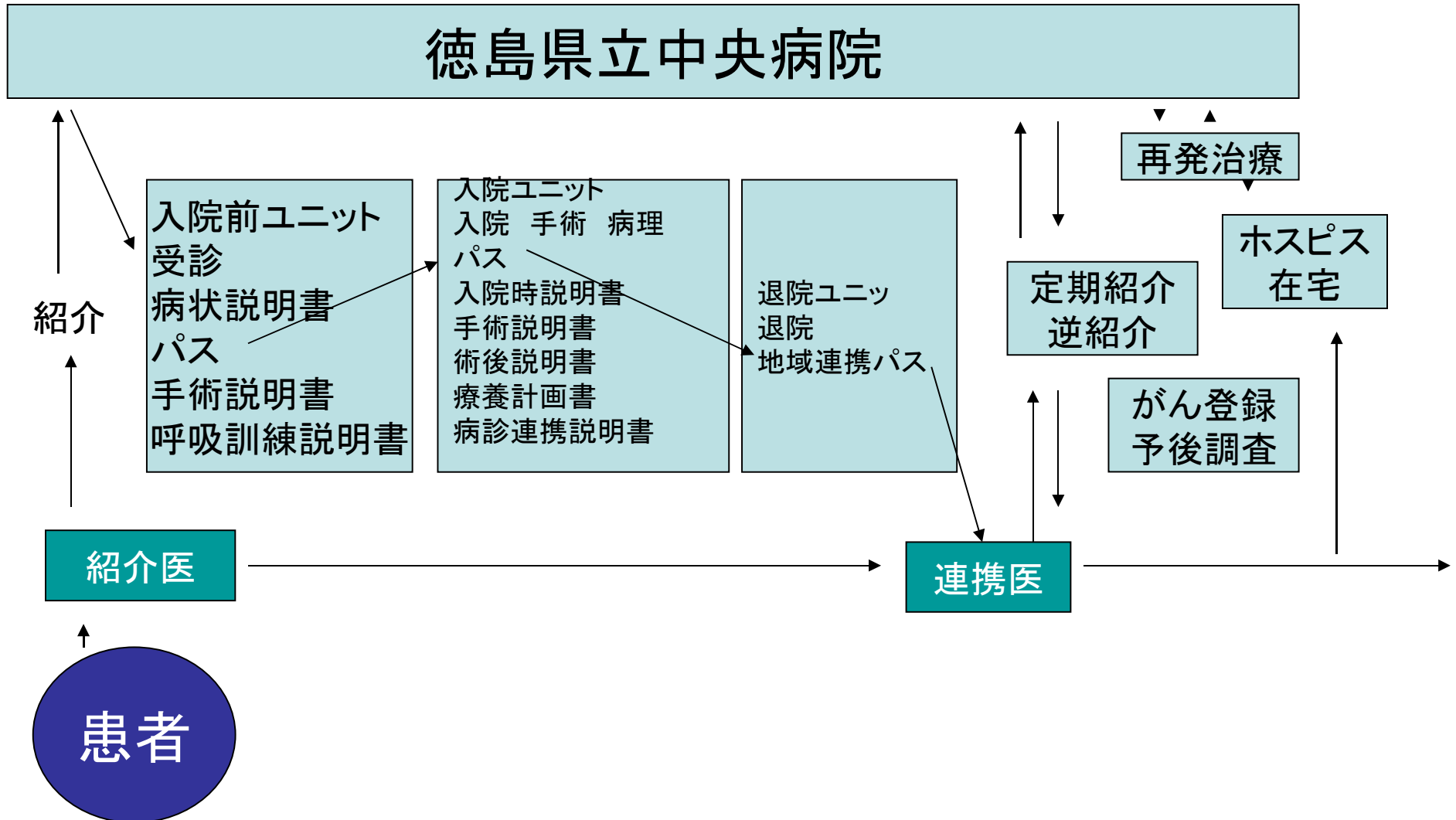
# 肺がんの地域連携パス

徳島県立中央病院



呼吸器外科 住友正幸先生

# 肺がんの地域連携パス



# 地域連携パス病期別適応率評価 (18ヶ月)

• 病期	18ヶ月
• I	36／51 (70.6%)
• II	6／12 (50.0%)
• III	4／12 (33.3%)
• IV	1／3 (33.3%)
• 合計	47／7 (60.3%)



# 肺がん連携パスの課題

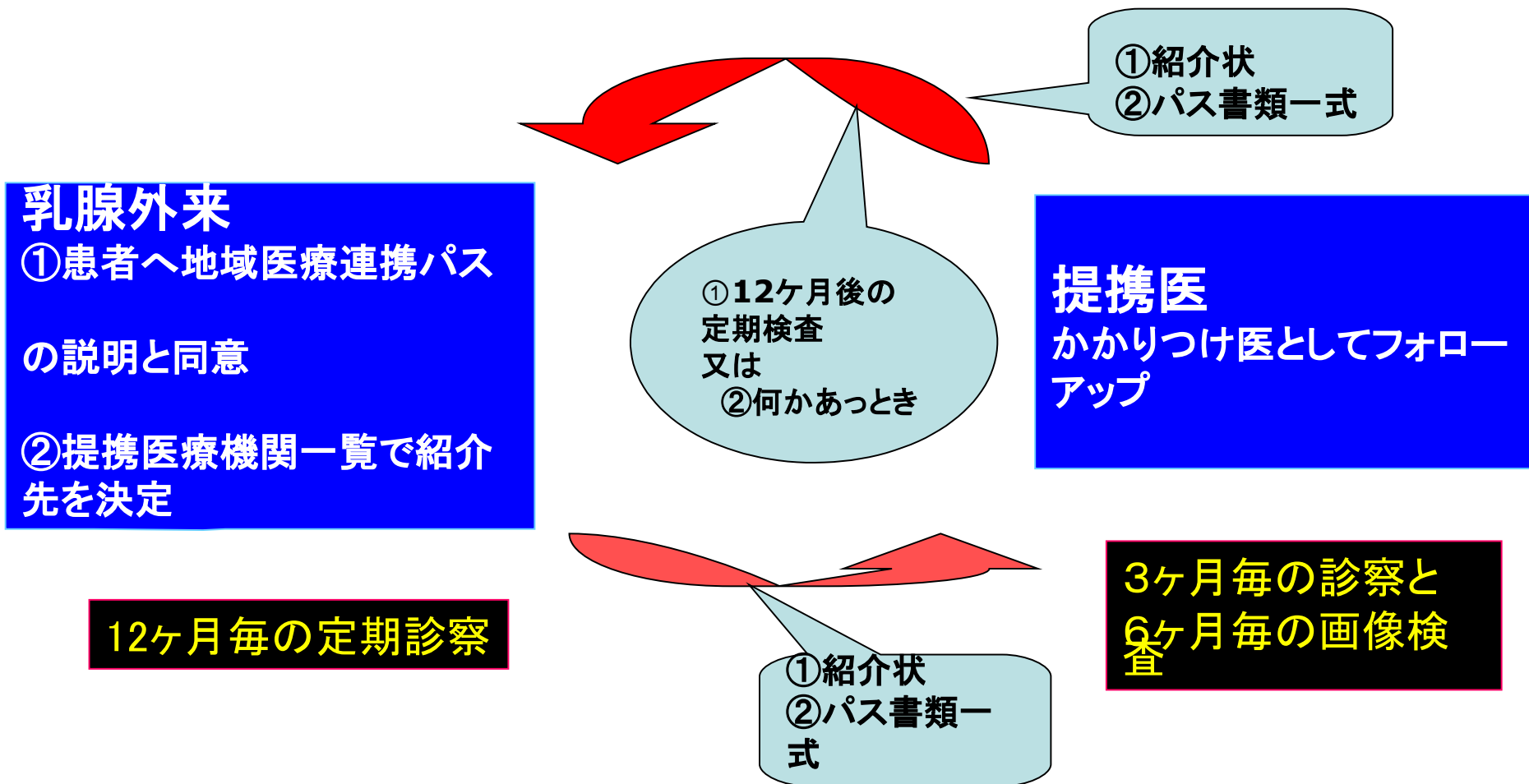
- 併存症を有する患者
  - 肺気腫、気管支炎、喘息、心不全
  - 在宅酸素療法
- 手術不能、再発例
  - 化学療法、放射線療法
- 看取りパス
  - 在宅連携パス

# 乳がんの地域連携パス

前橋赤十字病院

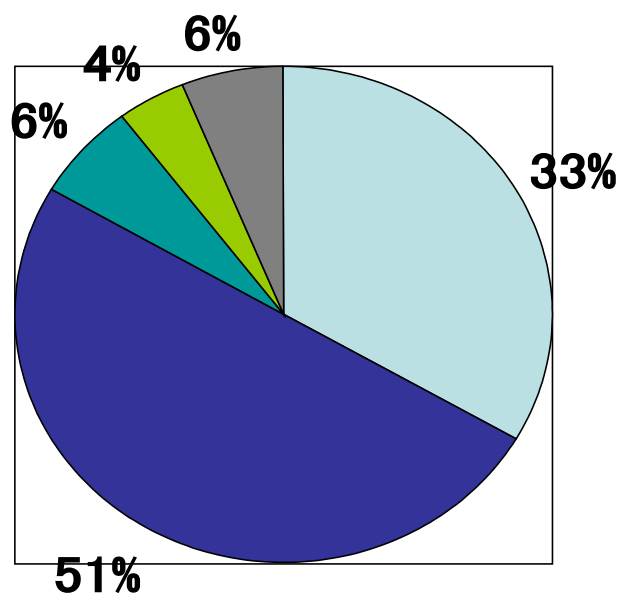
乳腺・内分泌外科 池田文広先生

# 乳がん術後地域連携パス流れ



# 乳がん患者ステージと紹介先診療所

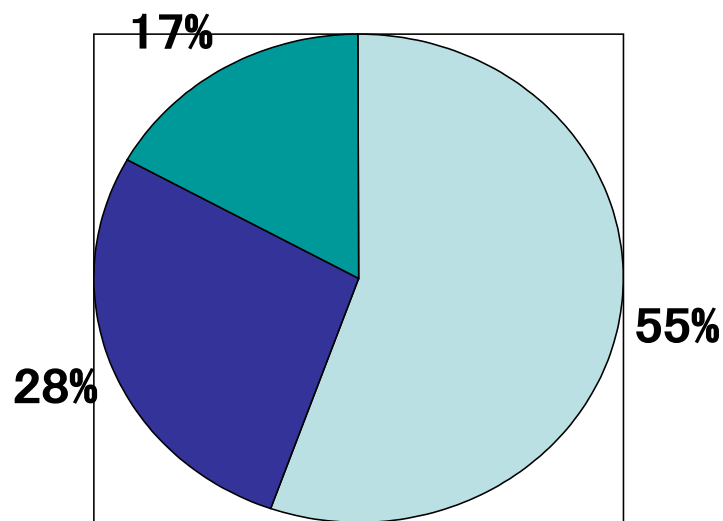
- 患者ステージ



144人



- 紹介先診療所



47診療所



# 乳がん連携パスの診察スケジュール

医療行為・術後	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1年
視触診	○	○	○	○
腫瘍マーカー	○	○	○	○
胸部XP		○		
腹部エコー		○		
胸・腹部CT				○
骨シンチ				○
マンモグラフィー				○

治療目標、診療行為、フェーズ別にオーバービューパスを作る

# 連携パスの患者に対する説明

- 医療の質と継続性の保証
  - 病院を離れるのではなく共同診療であること
  - 問題があればすぐに専門病院で診療を受けられること
  - 必ず1年に1度は専門病院で診療を受けること
  - 情報が相互に十分伝わっていること
- 地域医療連携により得られるメリット
  - 物理的に通院が楽になること
  - 待ち時間が短くなること
  - 併存疾患の診療が同時にできること

# 肝がん地域連携クリティカルパス

武蔵野赤十字病院



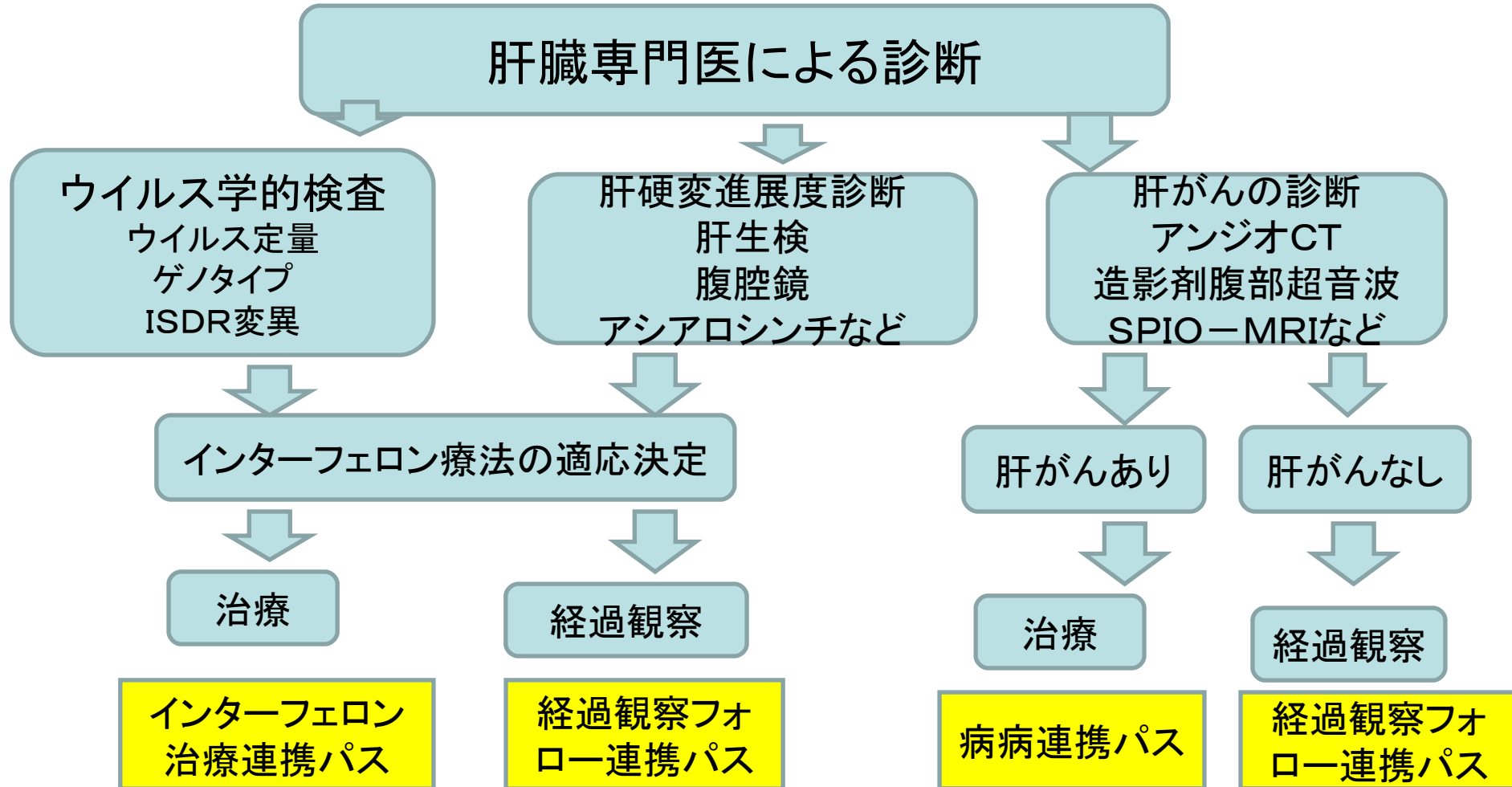
消化器科部長 泉並木先生

# 肝がん地域連携クリティカルパス

- ①C型慢性肝炎と診断された症例の長期フォローの連携パス
- ②ALT正常無症候性キャリアの長期フォロー連携パス
- ③インターフェロン療法が導入された患者における治療連携パス
- ④肝がん治療の病病連携パス



# C型肝炎ウイルスキャリアの 経過フローチャートと連携パス



# 東東京緩和ケアネットワーク 連携パス作成部会

09年2月

# 東東京緩和ケアネットワーク 緩和ケア連携パス作成部会

- 第1回作成部会(09年2月19日)
- 作成部会長 太田恵一郎(国際医療福祉大学三田病院)、  
顧問 武藤正樹
- 症状別パス作成
  - 疼痛管理、嘔気・嘔吐、不眠、呼吸苦など
- お看取り連携パス
- 済生会若草病院外科佐藤靖郎先生
  - フェンタニルパッチの連携パス



東東京緩和ケアネットワーク  
連携パス作成部会

# まとめと提言

- がん診療連携拠点病院は5大がんの地域連携クリティカルパスを作成し運用しよう
- 谷水班のがん地域連携クリティカルパスの4点セットを参考にしよう
- 都道府県レベルで、がん地域連携クリティカルパスの標準化を行おう
- がん地域連携コーディネーターを養成しよう

# 谷水班オープンカンファレンス お知らせ

- H20年度厚生労働科学研究補助金(がん臨床研究事業)「全国のがん診療連携拠点病院において活用が可能な地域連携クリティカルパスモデルの開発」班 オープンカンファレンス
- テーマ
  - 「がん地域連携クリティカルパス成立への道程」
- 日時
  - 3月8日午後1時—午後4時30分
- 場所
  - 東京女子医科大学 弥生記念講堂
  - 〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1

# 谷水班オープンカンファレンス プログラム

- ■基調報告「がん地域連携クリティカルパスモデル開発の現況」
- ■シンポジウム がん地域連携クリティカルパス成立のための課題
  - － 1. がん地域連携クリティカルパスに必要な要件
  - － 2. 先進事例にみるネットワーク構築のあり方
  - － 3. 医療機能別にみる課題 がん診療連携拠点病院、専門施設の立場から かかりつけ医の立場から コメディカルの立場から
  - － 4. 患者の視点からみる医療連携
  - － ■各論 5大がんの地域連携クリティカルパスの開発状況
  - － ■ディスカッション

# 地域連携コーディネーター養成講座 ～地域連携クリティカルパスと退院支援～

- 国際医療福祉大学大学院公開講座「乃木坂スクール」
- 4月11日より毎週土曜日18:00より開講(12回シリーズ)
- 日本医療マネジメント学会認定申請中
- 2008年4月より、新たな地域医療計画がスタートしました。新たな地域医療計画では、4疾患(がん、脳卒中、糖尿病、急性心筋梗塞)ごとに医療連携ネットワークを構築することになっています。またその連携ツールとして、地域連携クリティカルパスがあげられています。本講座では、地域連携クリティカルパスや退院支援・在宅医療における医療・介護連携の実践にかかわる諸問題を取り上げ、病院の連携業務に携わる方(医師、看護師、MSW、事務等)、ケアマネージャー、訪看ステーション、包括支援センター、保健所、製薬メーカー、医療関係出版社等の方々とともに学んでいきたいと思ひます。

# ご静聴ありがとうございました



本日の講演資料は武藤正樹のウェブサイト  
に公開しております。ご覧ください。

武藤正樹

検索



クリック